



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月24日

上場会社名 日信電子サービス株式会社
 コード番号 4713 URL <http://www.open-nes.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山手 哲治
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員業務推進統括部長 (氏名) 菊地 睦夫
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-5637-2460
 平成25年12月5日

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	6,846	7.9	534	44.9	562	40.3	318	50.9
25年3月期第2四半期	6,346	2.0	368	100.6	400	82.0	210	101.1

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 328百万円 (46.4%) 25年3月期第2四半期 224百万円 (130.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	53.12	—
25年3月期第2四半期	35.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本	%
26年3月期第2四半期	13,345		10,785		10,785	80.8
25年3月期	13,886		10,588		10,588	76.3

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 10,785百万円 25年3月期 10,588百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	22.00	32.00
26年3月期	—	14.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	18.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	5.4	1,440	6.8	1,480	6.2	750	5.3	125.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	6,000,000 株	25年3月期	6,000,000 株
26年3月期2Q	7,602 株	25年3月期	7,522 株
26年3月期2Q	5,992,452 株	25年3月期2Q	5,992,531 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2 四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日本銀行による各種経済政策を契機とした円安・株高傾向が進み、企業収益や個人消費の持ち直しの動きが継続するなど、景気が緩やかに回復しつつありますが、欧米における不安定な海外経済情勢が与える影響が懸念され、先行き不透明な状況で推移しました。

このような情勢のもと、当社グループといたしましては、顧客動向や市場環境の情報収集に努め、顧客ニーズに即応した提案営業による保守サービスの新規獲得や事業領域の拡大に取り組むとともに、業務の効率化やコスト削減等に注力し収益向上を図りました。

これらの結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は6,846百万円（前年同期比7.9%増）、営業利益は534百万円（前年同期比44.9%増）、経常利益は562百万円（前年同期比40.3%増）、四半期純利益は318百万円（前年同期比50.9%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント別概況は、以下のとおりです。

「交通サービス事業」

AFC分野は、保守サービスや新設改修工事の拡大、提案営業推進による予防保全作業の獲得により、売上は堅調に推移いたしました。交通システム分野は、補正予算による新設改修工事及び調査解析業務の受注増加が売上拡大に寄与いたしました。また、鉄道信号分野は、客先工事計画の遅延等が発生しましたがオーバーホール作業の獲得に積極的に取り組み、売上は前年同期並に推移いたしました。

なお、収益面は工事案件やオーバーホール等の受注拡大により材料費・外注費が増加しましたが、内製化やコスト削減に積極的に取り組んだ結果、前年同期を上回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は2,788百万円（前年同期比9.0%増）となり、セグメント利益は540百万円（前年同期比1.7%増）となりました。

「ITサービス事業」

駐車場機器分野は、保守サービスが前年同期並に推移いたしました。消耗品販売が継続して好調に推移し、売上は増加いたしました。また、OA機器分野は、ソリューション関連事業で伸張が見られましたがハードウェアを対象とした保守サービスが減少し、医療機器分野とともに売上は前年同期並に推移いたしました。

なお、収益面はOA機器分野を中心として、更なる業務の効率化や大幅なコスト改善を図りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は4,058百万円（前年同期比7.1%増）となり、セグメント利益は316百万円（前年同期比92.0%増）となりました。

なお、セグメント利益の調整額は△323百万円（前年同期△328百万円）となりました。これは、各セグメントに配分されていない全社費用であります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、現金及び預金、売掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ541百万円減少し、13,345百万円となりました。

負債合計は、買掛金及び未払法人税等、賞与引当金等の減少により、前連結会計年度末に比べ737百万円減少し、2,560百万円となりました。

純資産合計は、利益剰余金等の増加により、前連結会計年度末に比べ196百万円増加し、10,785百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、仕入債務の減少及び法人税等の支払等により前連結会計年度末に比べ269百万円減少し、1,578百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果使用した資金は、102百万円となりました。

これは主に、仕入債務の減少及び法人税等の支払等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は、35百万円となりました。

これは主に、有形固定資産及び無形固定資産の取得等に伴う支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は、131百万円となりました。
これは主に、配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年5月10日発表の業績予想値に変更はありません。

わが国経済は、政府による経済政策への期待感から、景気の一部改善の兆しが見られるものの、依然不透明な状態が続くものと予想されます。

当社グループにおきましては、引き続き顧客ニーズに即応した提案営業の推進と業務品質の向上を図ることに
より、市場競争力を高め、業績の向上に努めてまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

連結納税制度の適用

第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,848,037	1,578,468
受取手形及び売掛金	4,638,538	4,326,497
商品	17,037	33,214
貯蔵品	440,941	468,568
繰延税金資産	400,280	400,280
預け金	3,550,000	3,550,000
その他	158,560	143,446
貸倒引当金	△131	△122
流動資産合計	11,053,262	10,500,353
固定資産		
有形固定資産	738,924	721,375
無形固定資産	184,568	167,928
投資その他の資産		
投資有価証券	525,461	538,351
その他	1,389,353	1,421,789
貸倒引当金	△4,792	△4,236
投資その他の資産合計	1,910,022	1,955,905
固定資産合計	2,833,514	2,845,208
資産合計	13,886,777	13,345,561
負債の部		
流動負債		
買掛金	849,180	672,248
未払法人税等	578,906	262,930
前受金	127,035	156,139
賞与引当金	707,713	561,220
役員賞与引当金	26,000	14,100
その他	564,260	446,077
流動負債合計	2,853,096	2,112,716
固定負債		
繰延税金負債	436,213	439,040
退職給付引当金	4,802	4,690
その他	3,732	3,732
固定負債合計	444,747	447,462
負債合計	3,297,844	2,560,179

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	833,200	833,200
資本剰余金	727,800	727,800
利益剰余金	8,877,180	9,063,654
自己株式	△8,298	△8,386
株主資本合計	10,429,882	10,616,268
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	159,050	169,114
その他の包括利益累計額合計	159,050	169,114
純資産合計	10,588,933	10,785,382
負債純資産合計	13,886,777	13,345,561

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	6,346,026	6,846,892
売上原価	5,485,426	5,871,734
売上総利益	860,599	975,157
販売費及び一般管理費	491,985	441,022
営業利益	368,614	534,135
営業外収益		
受取利息	6,694	4,807
受取配当金	2,957	2,771
不動産賃貸料	1,255	1,254
保険配当金	19,522	17,194
その他	2,873	3,349
営業外収益合計	33,303	29,378
営業外費用		
不動産賃貸費用	1,119	1,119
その他	4	5
営業外費用合計	1,124	1,125
経常利益	400,793	562,389
特別利益		
特別利益合計	—	—
特別損失		
固定資産除却損	223	357
特別損失合計	223	357
税金等調整前四半期純利益	400,570	562,031
法人税等	189,652	243,723
少数株主損益調整前四半期純利益	210,917	318,308
四半期純利益	210,917	318,308
少数株主損益調整前四半期純利益	210,917	318,308
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,395	10,063
その他の包括利益合計	13,395	10,063
四半期包括利益	224,312	328,371
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	224,312	328,371

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	400,570	562,031
減価償却費	80,880	58,589
のれん償却額	6,535	6,535
貸倒引当金の増減額(△は減少)	937	△565
賞与引当金の増減額(△は減少)	△107,882	△146,492
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,900	△11,900
退職給付引当金の増減額(△は減少)	369	△112
前払年金費用の増減額(△は増加)	△44,701	△39,233
受取利息及び受取配当金	△9,652	△7,579
売上債権の増減額(△は増加)	290,614	341,701
たな卸資産の増減額(△は増加)	△43,044	△43,804
仕入債務の増減額(△は減少)	△222,756	△183,022
その他	△33,710	△89,206
小計	311,259	446,943
利息及び配当金の受取額	9,652	7,579
特別退職金の支払額	△267,552	—
法人税等の支払額	△233,838	△556,634
営業活動によるキャッシュ・フロー	△180,479	△102,112
投資活動によるキャッシュ・フロー		
預け金の増減額(△は増加)	50,000	—
有形固定資産の取得による支出	△39,051	△25,257
無形固定資産の取得による支出	△25,005	△15,398
その他	△37,074	5,044
投資活動によるキャッシュ・フロー	△51,131	△35,611
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△17	△87
配当金の支払額	△107,700	△131,758
財務活動によるキャッシュ・フロー	△107,718	△131,845
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△339,329	△269,569
現金及び現金同等物の期首残高	1,994,959	1,848,037
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,655,630	1,578,468

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注2)
	交通サービス 事業	I Tサービス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,558,293	3,787,732	6,346,026	—	6,346,026
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,558,293	3,787,732	6,346,026	—	6,346,026
セグメント利益(営業利益)	531,703	164,949	696,653	△328,039	368,614

(注) 1. セグメント利益の調整額△328,039千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの、固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

のれんの償却額及び未償却残高

(単位:千円)

	交通サービス事業	I Tサービス事業	全社	合計
当第2四半期連結累計期間 償却額	—	6,535	—	6,535
当第2四半期会計期間末 残高	—	26,143	—	26,143

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注2)
	交通サービス 事業	I Tサービス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,788,849	4,058,043	6,846,892	—	6,846,892
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,788,849	4,058,043	6,846,892	—	6,846,892
セグメント利益(営業利益)	540,484	316,770	857,255	△323,119	534,135

(注) 1. セグメント利益の調整額△323,119千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントごとの、固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報のれんの償却額及び未償却残高

(単位：千円)

	交通サービス事業	I Tサービス事業	全社	合計
当第2四半期連結累計期間 償却額	—	6,535	—	6,535
当第2四半期会計期間末 残高	—	13,071	—	13,071